

令和 2 年度
都市景観大賞

受賞概要

都市空間部門
景観まちづくり活動・教育部門



「都市景観の日」実行委員会

景観まちづくり活動・教育部門 受賞活動一覧

大賞 国土交通大臣賞

活動名	活動エリア	応募者
北斎通りまちづくりの会の取り組む景観まちづくり活動	東京都 墨田区	・北斎通りまちづくりの会

特別賞「都市景観の日」実行委員会 会長賞

活動名	活動エリア	応募者
相模湾沿岸地域 40 余団体の市民組織等による邸園等の利活用を通じた保存啓発活動	神奈川県 相模湾沿岸 地域一帯 及び横浜市 戸塚区	・湘南邸園文化祭連絡協議会

優秀賞「都市景観の日」実行委員会 会長賞

活動名	活動エリア	応募者
まち歩きのユニバーサルデザインプロジェクト黒石 2017~2019	青森県 黒石市	・青森県建築士会 南黒支部
<small>かねやままち</small> 山形県金山町の夜間景観づくり	山形県 最上郡 金山町	・山形県金山町 ・東京都市大学建築学科小林研究室

優秀賞 「都市景観の日」 実行委員会 会長賞

かねやままち

山形県金山町の夜間景観づくり

活動エリア 山形県最上郡金山町

応募者 山形県金山町、東京都市大学建築学科小林研究室

活動概要

山形県金山町は、50年以上に亘り、行政と住民が一体となって、自然と人工、新と旧、公と民が混在して調和するような街並みづくり活動がされてきた。しかし夜間景観については、この美しく独特な街の特性が表れているとはいえなかった。そこで本活動は、互いに関連付けられた街の個性を夜間にも感じさせると同時に、安心して散策できるような照明環境をつくろうとした。2013年に、中心部の水路と堀と樹木に小さな光を取り付けた。そして次年から、橋や公民館、神社や寺、住宅や店舗などに範囲を広げ、公有地と私有地が混在するような景観照明づくりへと展開していった。設置場所は6年間で70箇所200灯を超えた。軒先に取り付けられたランプシェードは住民による手作りであり、金山杉を活用した新たな灯りも生まれている。公園と水路と建物と樹木に、同じルールで光が灯され、その境界が曖昧である。公と私が入り混じった光環境は、金山町が50年以上に亘って目指してきた景観づくりを引き継ぐものであり、他の地域にはない夜の風景が形成されている。

審査講評

50年以上にわたって街並み景観づくりに取り組んできた金山町は、公民連携、大学との協働、地場産業との関わりなど、常に最先端を走ってきた。本活動における夜間景観づくりはそれをさらに前に進めるものである。全額補助のワークショップではじめてのランプシェードの製作は、人づてに技術が伝承され、いまや役場では正確な設置数わからないという。金山住宅を普及させたこの地らしい話である。住民の方に話を聞くとひとつひとつの照明に思い入れがある。東京から来た学生は照明設置や維持管理をサポートし、全体計画や公共施設への光設置を担っており、住民と大学との協働関係が成立している。手づくりのランプシェードは街灯と違って人の気配を感じさせる。訪問した日は冷たい雨がふる暗い夜だった。雨で光る路面に反射した小さな灯りの群れは、街並みを明るく照らすほどではなかったが、金山のみなさんの暖かさや美意識を表しているようだった。(福井)



金山町の景観の象徴でもある大堰公園周辺の風景
水路（大堰）沿いの光と保存樹の光



大堰公園に面した住宅の杉板堀に灯るランプシェード
歩行者を誘導し、水路に光が映り込む



手前は民有地の蔵、中央は店舗兼住宅、奥は銀行
軒下には手作りのランプシェードが灯り、
漆喰の壁面はライトアップされる



麻紐を用いた灯りづくりワークショップ
左端は金山町の鈴木町長（当時）